

古河市立小中学校適正規模・適正配置等審議会 第2回会議 議事録

日 時	令和4年8月9日（火）午後2時から午後3時20分
場 所	古河市役所 古河庁舎3階 全員協議会室
出 席 者	<p>会長 馬渡 剛            副会長 大里 充孝    委員 小嶋 洋平          委員 青木 加代子    委員 小川 久雄    委員 大川原 公雄          委員 梅津 信男    委員 羽兼 邦夫    委員 尾花 潔          委員 佐藤 隆之    委員 勝 文雄    委員 竹村 靖          委員 田神 昭</p>
欠 席 者	<p>委員 青木 涉            委員 小泉 俊行    委員 蛭田 裕          委員 岩淵 尚</p>
事 務 局	<p>教育部          部長 田中 秀明            副部長 島村 光昭          教育総務課          課長 大澤 勝彦            係長 内田 哲</p>
議 題	(1) 古河市立小中学校の適正規模について
議 事	<p>(1) 古河市立小中学校の適正規模について</p> <p>委員の考える小中学校の適正な学級数及び1学級あたりの児童・生徒数等について協議。委員を3つのグループに分け、グループ内討議を行い、その内容を発表した。</p> <p>発表内容は下記のとおり。</p> <p>○グループA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の学級数は、クラス替えなどを行うため、1学年2クラスは必要と考え、学校教育法施行規則の同様の基準である「12学級以上18学級以下」が適当と考える。</li> <li>・1学級の児童・生徒数は、小学生は「20人以上、30人以下」、中学生は30人程度が適当ではないかと考える。</li> </ul> <p>○グループB</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の学級数は、グループAと同様に「12学級以上18学級以下」が適当と考える。</li> <li>・小学校の1学級の児童・生徒数は、「小学校の平均人数である26人以上、30人以下」が適当ではないかと考える。また、中学生は「26人以上、32人以下」が適当ではないかと考える。平均人数であれば、公平な教育活動を目指すことが出来るのではないかと考えたため。</li> </ul>

	<p>○グループC</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の学級数は、集団の中で学ぶべき物が沢山あることを考慮して、1 学年 2 クラス以上は必要と考えるため、「12 学級以上 18 学級以下」が適当と考える。また、中学校の学級数は、教員の教員側の担当の数を考えた場合、全ての教科が担当出来る 1 学年 3 クラスは必要と考え、「9 学級以上 18 学級以下」が適当と考える。</li> <li>・小学生は「25 人以上、35 人以下」、中学生は「30 人以上、35 人以下」が適当ではないかと考える。</li> </ul> <p>※なお、第 2 回審議会内では適正規模の結論が出なかったため、第 3 回審議会で評決等を行うこととした。</p>
備 考	